

洋書輸入協会会報

VOL. 18

NO. 9

(通巻209号) 昭和59年9月

理事会報告

7月31日(木)

(一) 文教委員会報告

7月27日(金)開催された講演会およびその後のビア・パーティーには38社から72名が出席し、盛会であったことが報告された。講演の要旨は本会報に掲載する予定である。

(二) 会報記事の転載承認

本会報昭和48年10月号に掲載された土屋保男氏「マルクスの周辺」を同氏著「マルクスへの旅」へ転載することの承認を新日本出版社から求めてきたので、会報編集委員会で討議の上承認したことが、事務局長から報告され、了承された。

(三) 大阪での理事会・懇談会

9月10日(月)午後大阪で理事会を開催したのち、その夜会員との懇談会をもつことが提案された。

(四) その他。

海外ニュース

「オーストラリア国立大学
出版局の閉鎖」

昨年来、くすぶり続けている Australian National University Press の経営問題は、7月13日に開かれる大

学評議会において最終結着をみることになったが、そこでの結論は閉鎖という最悪の事態を免れないという観測が支配的となっている。同出版局の経営危機の原因については色々取り沙汰されているが、大学自体が非常に地域性の強い研究に偏っていたため学界の離反を招いたこと、同出版局には完全に独立した出版権が与えられていなかったこと及び各学部が発行するモノグラフ類の販売を義務付けられたため他の有力大学出版局との競合に敗れたことが主因と言われている。

(The Bookseller 1984年5月26日号より)

「英国書籍の平均単価」

Whitakers 社の出版統計によれば、1984年上半期に出版された書籍の平均単価は、1983年の13.76ポンドから13.60ポンドへと、1977年以来初めての減少を記録した。その主たる原因は、新版および重版書の単価の低下(9.5%減)にあるが、この部門は季節商品でもある高額書籍の再版の多寡に影響されやすく、これを含めた数字は必ずしも全体の傾向を正しく反映しているとは言えない。しかし、新刊書に限ってみても、平均単価の上昇率は1.4%に留まっており、価格面では全体的に健全な傾向にあると言えよう。(Bookseller 1984年7月28日号より)

——紀伊國屋書店提供——

理事会報告……………1	外国出版社紹介 No104……………3	来日外人名簿……………5
海外ニュース……………1	Book Review No101 ……………4	総代理店ご案内……………5
昭和59年1～6月洋書輸入	書籍展示会のお知らせ……………4	広告……………6
通関統計とその分析……………2	お知らせ……………5	

昭和59年1～6月洋書輸入通関統計とその分析

相 良 廣 明

大蔵省関税局から、昭和59年1～6月の日本貿易統計輸入品別国別表が発表されたので、洋書関係の数字をピックアップしてお知らせする。

1. 書籍・雑誌の通関価額と前年比

(表1) (単位：百万円)

期 間	書 籍	雑 誌	計
S58. 1～6月	10,324	8,150	18,474
S59. 1～6月	11,241	7,485	18,726
前 年 比	109%	92%	101%

(注1) 書籍は仮とじもの、パンフレット及びリーフレットを含むが、マイクロフィルム類は含まない。
雑誌は定期刊行物を含むが新聞を含まない。

(注2) 価格はCIF又はC&Fである。

(注3) 昭和57年6月までは、小額貨物は10万円以下含まれずとなっていたが、7月より20万円以下含まれずに変更されている。

(注4) 書籍は、現品入荷月の翌月の15日までに届出が行なわれるため、入荷より平均1ヵ月の遅れで計上されている。

(注5) 雑誌は、最終号が到着したと認められる時点において届出が行なわれるため、初号入荷時よりも約一年遅れて計上されている。

2. 昭和57/7～59/6の、各年7月～翌年6月期間の書籍・雑誌輸入通関統計比較表

(表2) (単位：百万円)

期 間	書 籍	前年 同期 比	雑 誌	前年 同期 比	計	前年 同期 比
S57. 7～12月	10,316	109%	2,759	107%	13,075	108%
S58. 1～6月	10,324	94	8,150	98	18,474	96
計	20,640	101	10,909	100	31,549	101
S58. 7～12月	9,704	94	2,771	100	12,475	95
S59. 1～6月	11,241	109	7,485	92	18,726	101
計	20,945	101	10,256	94	31,201	99

3. 主要六カ国の国別書籍・雑誌通関価額と前年比

(表3) (単位：百万円)

国 別	書 籍			雑 誌			計		
	S58 1～6月	S59 1～6月	前年 比	S58 1～6月	S59 1～6月	前年 比	S58 1～6月	S59 1～6月	前年 比
米 英	4,704	5,672	% 121	3,681	3,341	% 91	8,385	9,013	% 107
西 独	1,969	2,158	110	979	1,072	109	2,948	3,230	110
仏 国	1,454	1,281	88	831	674	81	2,285	1,955	86
ス イス	345	416	121	253	230	91	598	646	108
蘭 国	257	179	70	484	304	63	741	483	65
計	478	480	100	1,266	1,329	105	1,744	1,809	104
計	9,207	10,186	111	7,494	6,950	93	16,701	17,136	103

4. その他で書籍・雑誌のいずれかが1億円を超えた国

(表4) (単位：百万円)

国 別	書 籍	雑 誌	計
イタリー	187	268	455
香 港	239	49	288
中 国	146	45	191
台 湾	149	5	154

5. 通関価額の算出法

通関額は円価計算であり、円への換算率は一週間の為替相場の平均値を翌週集計し、翌々週に適用するというシステムになっているため、平均2週間のズレがあるとはいえ、ほぼ確実に相場を反映している。

〔参考〕米ドル為替相場上下一覧表

(表5)

期 間	平均相場	前年同期比
S 57. 7～12月	260.33円	113.4%
S 58. 1～6月	237.67	99.0
S 57. 7～S 58. 6	249.00	106.1
S 58. 7～12月	239.47	92.0
S 59. 1～6月	231.36	97.3
S 58. 7～S 59. 6	235.45	94.6

6. 分 析

洋書通関価額の増減は、種々の要素が影響するが、決定的なものは文教予算の増減である。S 58. 7～12月の前年同期比5%ダウン、S 59. 1～6月の1%アップ、合計で1%のダウンも、円高や、これに伴う販売価格の大幅値下りなどを織りこみながら、結局は文教予算のマイナス・シーリングに左右されている。文教予算の増大を期待したいところである。

以上

外国出版社紹介 No.104

UNIVERSITY OF CALIFORNIA PRESS

2120 Berkeley Way, Berkeley, California 94720

M. W. Shinn の Notes on the Development of a Child を 1893 年に 25 セントで発売したのを Univ. of California Pr. の始まりとしています。その後ほぼ 100 年経った現在、世界の学術出版社のうち最も著名で、かつ意欲的な大手の一つとなっております。事務所を Berkely, Los Angels, New York, London、東京に持ち、13 の学術雑誌、年約 130 タイトルの新刊を出版し、3,000 タイトルの在庫を持っております。

編集スタッフを Berkeley と Los Angels 校内に持ち、本出版局はカリフォルニア大学全体に対する活動を行ない、出版局長 James H. Clark は大学の教務主任に対して報告書を提出します。

本大学出版局の目標は 3 つあります。(1)世界の学者による学者のためのものを出版する、(2)大学の教育という使命を実現するために、一般読者にも理解できるような学術書を出版する、(3)カリフォルニア大学教授陣によるオリジナルな研究の成果を出版する。

出版企画に際して、原稿を選択する基準は、その優秀さと出版する意義に求められます。8 人の編集責任者が、原稿を求め、著者と契約を交わし、受納されたタイトルの出版計画を立てます。本大学出納局を使用する最終的な権限は、大学の 9 つのキャンパスを代表する 17 名の教授からなる編集委員会と出版社の学術綱領

に帰属しています。編集やデザインは、各産業の一番優秀な所と契約して制作しているタイプセット・印刷・製本とともに精密で出来の美しい、さらに耐久性のある本を作るという目的を持って計画されております。出版局の収入のうち、広報のための費用は商業出版社より多く、書店で品切れにならないように配慮する専任スタッフを抱えています。年商は 500 万ドルを超えますが、そのうちカリフォルニア州が 20% で外国が 15% となっています。

本出版局は、出版自体すぐれた事業によって成立しております。新刊書の数で本出版局より点数の多い学術出版社は、世界でも 4 つを数えるのみです。シカゴ以西の最大の学術出版社であり、その出版物も全分野に亘っておりますが、特にアジア・アフリカ・ラテンアメリカ研究や古典学・文学研究・美術・社会学・カリフォルニア州の民衆と環境に関するものには誇るべきものがあります。10 年後には話題になるが、現在は無視されているような主題に関する出版を心掛けているという賞讃や、The Plan of St. Gall のようなすばらしい企画から、The Mark Twain Library、単純なものでは Natural History Guides のようなものに至るまでの卓越した本作りに対する定評を得ております。(Y. M. 記)

清水英夫「人は本なしには生きられない

——活字からのメッセージ」

サイマル出版会 1984年7月 271pp. ¥1,300

新刊書の広告が新聞紙上を賑わし、書店には新刊書が山積みされている。1983年には、33,617点の新刊書が発行されたということである。(p.25) それでいて出版界の危機、低迷が叫ばれて既に久しい。全国学校図書館協議会と毎日新聞社とが共同で毎年実施している「学校読書調査」によれば、「最近一ヵ月間に一冊も本(雑誌、マンガ本を除く)を読まなかった」不読書生徒の割合は、1963年には小学生0.5%、中学生11.5%、高校生11.9%であったのが、1972年にはそれぞれ13.1%、34.1%、43.7%と急上昇し、1983年には8.4%、44.1%、53.8%となっている。これらの数字の背景にあるのがテレビの影響であることはいうまでもない。(p.34~p.39) さらに成人の日本人の平均テレビ視聴時間は一日に2時間20分ぐらいらしいのに、読書時間(本と雑誌)はこの数年間35~36分であるという。(p.4~p.5) 活字離れは日本だけの現象ではないにしても、視聴率という魔物によって支配されているテレビが、視聴者の能動性を全く排除し、受動性に依存しつつ、一方的に情報を送りだしていることに、現代文化の危機が示されている、というのは言いすぎであろうか。しかも、われわれの業界でも文教予算と私立大学助成金へのしわよせによって市場が伸びない或いは縮んでいるという深刻な状態にあるのに、いわゆるニューメディアの開発には本年度新たな予算が割当てられ、放送衛星の分野では790億円(昭和58年度の公共および大学図書館が購入する全図書費の2倍強という)が計上されているということである。(p.42)

こういう状況の下にあっても、いやあるからこそ「本を否定したり軽視したりすることは、私たちの文化の最も基本的な部分を捨ててしまうことに等しいであろう。少なくとも、いまのニューメディアは、情報の道具ではありえても、思想の担い手とはなりえない、と思う。ある意味で、本は思想そのものである。」(p.1~p.2)「私は、もし思想の自由を大切にしなければならぬとしたら、読書の自由はその最大の要件だ、と固く信じている。『読む』という行為は、それが自覚的、主体的、体系的なものである限り、最も本質的な理解(コミュニケーションの受容)を可能にする。……『読むこと』は『考えること』なのである」(p.13)と考えている著者が、出版文化の危機に際して、世に送ったいわば警世の書である。

著者は、いうまでもなく、青山学院大学の教授であり、日本出版学会の会長であって、こういうタイトルの本の著者としてもっともふさわしい。プロローグ——人は本なしには生きられない、は書きおろしであるが、あとは既発表の文である。IからIVまでが本論で、「V 本と私——その軌跡」は著者の読書歴と海外旅行記であり、「VI 出版関係の本を読む」は書評であるが、とりあげられた本の中には、本会報で紹介されたものもある。洋書についての言及が多いわけではない。「ブロックバスター時代——出版変貌の内幕」が紹介されている。(本会報 vol.16, No.2 に紹介されている。)論旨は明快であり、きわめて読みやすい。一読をすすめたい本である。(M. I.)

書籍展示会のお知らせ

第17回カイロ国際ブックフェア 1985年1月
17th Cairo International Book Fair

香港国際書刊博覧会 1985年3月1日~4日
LITERASIA 85, Hong Kong International Festival of
Publications

おしらせ

次の通り代表者の変更通知がありましたのでおしらせ
します。お手もとの会員名簿にご記入ください。

株式会社 明治書房

代表取締役 新任 守屋杉男

旧 守屋寿夫

来日外人名簿

8月中旬 Mr. Stephen M. Smith,
Middle East Sales Executive,
Prentice-Hall, London

総代理店ご案内

(株) 紀伊國屋書店 ☎(03) 354-0131
Aslib : The Association for Information
Management—UK—All journals
Carfax Publishing Company —UK—All journals
Library Association—UK—All journals
Routledge & Kegan Paul—UK—All journals
Wordsworth, W—The Manuscript of "Poems, in Two
Volumes (1807)". A Facsimile ed. 1984
(British Lib., Ref. Div.)—UK—¥34,500

北屋書籍貿易 (株) ☎(06) 203-5961
(03) 573-3031
Mintel Publications Ltd. GBRAll publications
Mintel Market Intelligence (Monthly)
Air Mail only¥141,600
Mintel Retail Intelligence (Quarterly)
Air Mail only¥189,600
Mintel Leisure Intelligence (Quarterly)
Air Mail only¥189,000

日本出版貿易 (株) ☎(03) 292-3755
Janis. J. Harold :
Modern Business Language & Usage in Dictionary
Form '84
(Doubleday & Co., USA)¥6,380

New York County Business- to-Business Yellow
Pages 1984-85
(New York Telephone Yellow Pages)
(New York Telephone Company, USA)¥8,500

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎(03) 291-4541

Schiffer Publishing Ltd. (USA).....All books
Studies in American Renaissance Series.

(The University Press of Virginia) 1983 Edition

.....¥12,000

Music Master : The World Greatest Record Catalog.
(Music Master) ペーパー版¥5,370

次の出版社は6月末をもって出版活動を停止しました
ので、同社の代表業務を停止いたしました。

Australian National University Press (Australia)

ユ サ コ (株)

☎(03) 502-6471

HeteroCorporation

The Journal of Heterocyclic Chemistry

National Research Council of Canada

Monthly Canadian Journal of Biochemistry and
Cell Biology

Canadian Journal of Botany

Canadian Journal of Chemistry

Canadian Journal of Earth Sciences

Canadian Journal of Microbiology

Canadian Journal of Physics

Canadian Journal of Physiology and
Pharmacology

Canadian Journal of Zoology

Bimonthly Canadian Journal of Forest Research

Canadian Journal of Genetic and
Cytology

Quarterly Canadian Geotechnical Journal

Canadian Journal of Civil Engineering



NATIONAL RESEARCH COUNCIL CANADA

医・農・工・理学分野における権威ある学術誌が
カナダ政府より発行され高く評価されています。

Canadian Journal of Biochemistry and Cell Biology

●月刊 ¥27,300(法人) ¥13,500(個人)

Canadian Journal of Botany

●月刊 ¥43,600(法人) ¥20,500(個人)

Canadian Journal of Chemistry

●月刊 ¥50,400(法人) ¥23,400(個人)

Canadian Journal of Civil Engineering

●季刊 ¥15,600(法人) ¥9,620(個人)

Canadian Journal of Earth Sciences

●月刊 ¥36,400(法人) ¥17,600(個人)

Canadian Journal of Forest Research

●隔月刊 ¥22,100(法人) ¥12,200(個人)

Canadian Journal of Genetics and Cytology

●隔月刊 ¥22,100(法人) ¥12,200(個人)

Canadian Geotechnical Journal

●季刊 ¥15,600(法人) ¥9,620(個人)

Canadian Journal of Microbiology

●月刊 ¥31,700(法人) ¥14,800(個人)

Canadian Journal of Physics

●月刊 ¥42,300(法人) ¥17,600(個人)

Canadian Journal of Physiology and Pharmacology

●月刊 ¥29,300(法人) ¥14,300(個人)

Canadian Journal of Zoology

●月刊 ¥41,000(法人) ¥18,900(個人)

■表示「円」価格は1985年度予定価格であり、版元の都合により変更されることがあります。(S.59年9月末現在)

■JCBカードも取扱いますので、詳細は本社「代理店業務部」までお問い合わせ下さい。

USACO®

旧社名

株式会社ユー・エス・エシアテックカンパニー (S.58.10.1)

〈日本総代理店〉

ユサコ株式会社

本社 〒105 東京都港区新橋1丁目13番12号堤ビル ☎(03)502-6471(代表)
大阪営業所 〒530 大阪市北区堂島1丁目2番2号日昭ビル ☎(06)344-6624(代表)
名古屋営業所 〒461 名古屋市中区栄木町3丁目63番地 ☎(052)931-2601(代表)
筑波営業所 〒300 土浦市富士崎1丁目7番21号和光ビル ☎(0298)23-1773(代表)

昭和59年9月

通巻第209号

洋書輸入協会

編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル 603号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329